

● 「情報Ⅱ」履修に向けた学習状況の把握

- 「検定試験 教科情報検定®」受験により得ることができる「情報Ⅰ」学習状況の把握
- 教科情報検定®を受験していただくことを前提に、「情報Ⅰ」学習状況把握のための受験が何回でもできる。

	項目	個数	単価	小計(円)
1	教科情報検定®	100	2500	250,000
2	プログラミング・情報に関する【教職員向け研修】や【授業支援】	1	100,000	100,000
				合計 250,000

できること

- 「情報Ⅱ」履修のための「情報Ⅰ」学習状況の把握
- アセスメント・検定結果による学習領域ごとの理解度の把握
- 全国共通の指標で測定することによる、教員/学習者の到達地点の把握
- 「情報Ⅱ」履修に向けた学習計画のためのデータ取得
- 教科情報検定 合格による資格取得
- 資格取得による学習者の学習意欲の刺激・向上
- デジ連登録講師によるプログラミング・情報教育に関する教員向け研修も対応可能

留意点

- 教科情報検定の受験にはサーティファイ認定試験会場の登録が必要です。
- アセスメント目的の受験のみの活用はできません。
- アセスメント受験と検定受験との結果を比較することで、学習状況の把握を行います。

※個数、単価等については、参考値です。

研修のご提供は内容により単価が変動する可能性があります。

※本件について、詳細は以下担当者にお問合せください。

サーティファイ認定試験事務局 担当:大橋

Mail: info@certify.jp TEL: 0120-031-749

教科情報検定

「情報Ⅰ」に関する基礎的な知識を有し、
その知識を活用し思考・判断・表現する力を認定する試験です。
デジタル人材共創連盟の監修をいただいております。

主催・認定	サーティファイ 情報処理能力認定委員会
試験名	教科情報検定®
受験資格	学歴、年齢等に制限はありません。
試験時間	60分
合格基準	得点率が60%以上とする。
出題形式	40設問程度 多肢選択式 (大学入試センター 試作問題「情報Ⅰ」同様の形式とする)

デジ連 登録講師のご紹介

講師

河野 達弥(こうの たつや)氏

・株式会社 irodori 代表取締役

https://dle.or.jp/blog/instructor_kouno/

大阪教育大学卒業後、大手印刷会社にてシステムエンジニアとして9年勤務。大手生命保険会社などの一括アウトソーシング業務を担当し、プロジェクトリーダーを経験。社内改革推進や新入社員研修担当も経験。

現在は、こども向けのプログラミング教室と造形絵画教室を運営する傍ら、公教育支援にも従事。

活動範囲

- ・関西 ※交通費全額支給に限る
- ・関西以外のエリアにおいては、オンライン等による研修実施体系も企画可能。
(研修内容や実施方法に関しては相談のうえ、柔軟に調整させていただきます。)

教科情報検定 試験範囲

試験範囲は「情報 I」の学習範囲に則り、以下の通り定めております。

高等学校 学習指導要領(平成 30年告示)情報に準拠し、以下の領域から出題する。

- (1) 情報社会の問題解決
- (2) コミュニケーションと情報デザイン
- (3) コンピュータとプログラミング
- (4) 情報通信ネットワークとデータの活用

※プログラミング言語については、共通テスト手順記述標準言語の仕様に準ずる。

参考: 大学入学共通テストの「問題作成のねらい、範囲・内容」における表記

○問題作成のねらい、範囲・内容

「第1(「問題作成の基本的な考え方」の項)」に示す問題作成の基本的な考え方を踏まえつつ、高等学校学習指導要領に準拠するとともに、高等学校学習指導要領解説及び高等学校で使用されている教科書を基礎とし、特定の事項や分野に偏りが生じないように留意する。

なお、高等学校における通常の授業を通じて身に付けた知識の理解や思考力等を新たな場面でも発揮できるかを問うため、教科書等で扱われていない資料等も扱う場合がある。

※「独立行政法人大学入試センター:令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法及び問題作成方針」より

「第2 出題教科・科目の出題方法、問題作成のねらい、範囲・内容等」から抜粋

教科情報検定 試験結果



試験結果は以下の「**結果帳票(PDFデータ)**」にてお知らせします。
 また、団体担当者の方には、**受験者の結果一覧データ**もご提供します。

1030001
東京都中央区日本橋小伝馬町

試験 三郎 様
20038-00010-1-JK00A2023

教科情報検定について
 サーチファイブ情報処理能力認定委員会が主催する当検定試験は、高等学校において「情報Ⅰ」が必修科目となり、また2026年度から次期大学入学共通テスト-教科「情報Ⅰ」が追加される背景を受け2023年度に新規検定として創設されました。初等教育から高等教育まで、一貫して重要視されている「情報」分野において今後より一層重要となる情報に関する基礎能力を測定、判定することで、学生、教育機関、企業それぞれの目的に応じた利活用ができる検定試験として発展が期待されています。

発行日：2023年4月12日
情報処理能力認定委員会

■ 受験情報 / 教科情報検定
 受験者名 試験 三郎
 受験番号 1 (生年月日) 2000年1月1日
 受験会場 テスト用(坂井小倉専用)
 高校コード 00010 (受験日) 2023年3月29日

■ 認定基準 / 教科情報検定
 「情報Ⅰ」に関する基礎的な知識を有し、その知識を活用し思考・判断・表現する力を認定します。

■ 試験結果 / 出題テーマ別

テーマ	正答率	正答/問題
情報社会の問題解決		10/10
コミュニケーションと情報デザイン		10/10
コンピュータプログラミング		11/11
情報通信ネットワークとデータの活用		9/9

■ 正答状況

問	状況	問	状況	問	状況	問	状況	問	状況	問	状況	問	状況
1	○	6	○	11	○	16	○	21	○	26	○	31	○
2	○	7	○	12	○	17	○	22	○	27	○	32	○
3	○	8	○	13	○	18	○	23	○	28	○	33	○
4	○	9	○	14	○	19	○	24	○	29	○	34	○
5	○	10	○	15	○	20	○	25	○	30	○	35	○

得点率 100% 合格結果 -

■ 出題範囲 / 教科情報検定
 高等学校 学習指導要領(平成30年告示)情報に準拠し、以下の領域から出題する。
 (1)情報社会の問題解決
 (2)情報通信ネットワークとデータの活用
 (3)コンピュータプログラミング
 (4)コミュニケーションと情報で時
 ※プログラミング言語については、共通テスト筆記試験標準言語の仕様に準じる。

詳細はサーチファイブHPでご確認ください。
<https://sikaku.gr.jp/js/exam/example/>

学習領域別
得点率

問別正答状況



※検定試験目的のご受験においては、合格者を対象に「オープンバッジ」も発行いたします。

オープンバッジは、ICT活用教育分野における国際的な技術標準規格に準拠したデジタル証明です。

オープンバッジとは: <https://www.sikaku.gr.jp/js/introduction/highlicense/>

※アセスメント目的の受験においては、合否認定を行いませんのでオープンバッジを発行しません。

ご興味がありましたら、以下からお問い合わせください。

- 企業名：株式会社サーティファイ
- 電話：0120-031-749
- メール：info@certify.jp
- ホームページ：<https://www.sikaku.gr.jp/>
- お問い合わせフォーム：<https://content.sikaku.gr.jp/otoiawase>